

戦評用紙

大会名	山形県高等学校バスケットボール選抜優勝大会		
-----	-----------------------	--	--

日時	2013年10月27日13:30～	区分	男子
----	-------------------	----	----

チームA				チームB
山形南				日大山形
96	20	1Q	13	80
	23	2Q	18	
	21	3Q	25	
	32	4Q	24	
		延長		

【戦評】

第1Q 山形南オールコートマンツーマン、日大山形ハーフコートマンツーマンでスタート。山形南が得意のオールコートプレスを仕掛け連続得点を奪い、日大山形がたまたまタイムアウト。タイムアウト後に日大山形NO4のミドルシュートで得点を奪う。NO.6、NO.8も果敢にゴールにアタックし一歩も引かない展開。山形南は激しいDFからNO.5、NO.6が確実に決め主導権を握った。20-13で山形南7点リードで第1Q終了。

第2Q 日大山形は2-3のゾーンに変更する。山形南はNO.9がゾーンをかいくぐり連続得点。リードを9点差にされたところで日大山形タイムアウト。タイムアウト後、日大山形が山形南NO.5にボックスワンDFを仕掛けるが、逆にNO.6、NO.9に得点を許す。日大山形はNO.7のドライブ、NO.8の3Pで応戦するが、終了間際に山形南NO.6がゴール下を決め、43-31で山形南12点リードで前半終了。

第3Q 日大山形NO.5のゴール下で先制するが、すかさず山形南NO.9もゴール下を決め返す。山形南はNO.6、NO.9のインサイドで着実に加点していくのに対し、日大山形はNO.6が3P、ドライブから連続得点で譲らない。その後もお互いインサイドで得点を重ね一進一退の展開が続く。山形南は一時18点リードするが日大山形は気持ちを切らさずにNO.4、NO.5、NO.8を中心に追撃し8点差まで差を縮め、64-56で第3Qを終了する。

第4Q 山形南は激しさを増したオールコートプレスを仕掛け引き離しにかかるが、日大山形もミスをせずシュートにつなげ粘りをみせる。残り6分、日大山形がオールコートプレス仕掛けるが、山形南NO.6、NO.8のシュートでリードを広げられる。残り4分、これまでうまく攻略していた山形南のオールコートプレスに苦戦し万事休す。それでも日大山形はNO.5のドライブなどで意地をみせる。山形南は控えメンバーも確実に得点しリードを広げる。日大山形も終始、気迫のこもったプレーで意地を見せるが、勝負所で爆発力をみせた山形南が96-79で勝利した。日大山形も最後までボールを追い続けた姿に拍手を送りたい。

戦評者

菅谷 昭則